

## 助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	聴覚障害者向け遠隔手話通訳サービスモデルプロジェクトの役務提供
助成対象事業者名	株式会社プラスヴォイス
助成金の額	10,350 千円

### 【助成対象事業の全般について】

① 助成対象事業の概要	本事業は、意思疎通支援事業における手話通訳派遣で対応ができない場面や、緊急時にも自分のスマートフォンやタブレット端末で手話通訳オペレータに接続し、通訳を通して意思疎通ができるようにしたものである。筆談等でこれまで不利益を被っていた場面でも手話で話せる環境を実現し、ろう難聴者の社会的地位の向上につなげたいという願いをこめた事業である。
② 助成対象事業の目標	いつでもどこでも手話で意思疎通できる機会を保障し、ろう難聴者と聴者との相互理解を働きかけ、SDGs が目指す誰一人取り残さない社会インフラの整備を目的とし、今年度は登録者を 1,000 人募集することを目標とした。

### 【令和6年度実施部分について】

③ 助成対象事業の実施内容	対面通訳(遠隔手話通訳)をメインに、ろう難聴者から要望のあった代理電話+と日本語サポートをオプションとしたベーシックコース(月額5,500円)、対面通訳のみのコース(月額3,300円 or 550円プラスα)をそれぞれ提供した。通訳対応時間は年中無休で午前8時から午後9時まで。10月末から3月までで約2700件対応をした。
④ 助成対象事業の成果	10月20日より「えんかく+(プラス)」という名称でサービスを開始し、3月現時点で登録者は200名を超えた。目標の1,000人には届かなかったが、SNSのフォロワーは3,000人を超え、ろう難聴者の間で注目を集めていると感じられた。来年度から一部の地域で自治体が提供するサービスとしてえんかく+を導入する予定がある。利用料を行政が負担する形で、その地域のろう難聴者が全員使えるように継続して働きかけたい。
⑤ 補足説明事項	法人プランとして1月より「えんかく+ for Business」を提供し、大手企業2社と契約中。他4社ともトライアル相談中である。